

香芝の風景

私のアングル

タウンウォッチャー 西川徳蔵(真美ヶ丘)



東大阪市から香芝市に移り住んで四年目を迎えます。

住まいのある真美ヶ丘三丁目には馬見丘陵の南端部に当たり、近鉄五位堂駅から北東へ歩きはじめると坂道になって雑木林や池、棚田が点在します。人手の入っていない雑木林や竹林が自然のまま残っていたり、整備された公園もあつて緑に恵まれたところだと言えます。

絵の「風景」は、真美ヶ丘三丁目の南端にある高台の土山児童公園から描いたもので、私のとても好きな場所です。

春になると、坂道沿いにある二十メートル近い櫟がいつせいに芽吹きはじめ、棚田の畔にれんげの花が咲きます。雑木林に挟まれたような棚田の一角に溜め池の水面が光り、白壁の家並みの彼方には春霞の二上山が眺められます。晴れわたった朝には当麻寺の東西二つの塔がみえる日もあります。この辺り、雑木林で鳴く鶯の声が聞こえ、棚田につがいの雉の姿を見ることがあります。

大阪へ出勤する私は、四季折々、表情をかえる二上山の姿を楽しみながら毎朝坂道を下り、五位堂駅へ向かうのです。

出勤する

わがうしろより

雉の声

徳蔵